

資料 3

人生の最終段階における医療・ケアの普及・啓発のあり方検討部会長提出資料

令和元年度 A C P 部会での取組結果

部会委員

部会長 牟田 文彦 (一般社団法人久留米医師会理事)

内藤 雅康 (一般社団法人久留米医師会理事)

西岡 進 (一般社団法人久留米医師会)

長澤 一利 (一般社団法人久留米歯科医師会理事)

青木 和子 (一般社団法人久留米三井薬剤師会副会長)

副会長 富安 智子 (NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会訪問看護部会副部長)

西田 千代香 (NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会介護支援専門員部会副部長)

南島 政雄 (NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会訪問介護部会委員)

寶場 由佳 (NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会ソーシャルワーカー一部会委員)

良永 忠則 (NPO法人久留米市介護福祉サービス事業者協議会施設部会部長)

中村 篤雄 (久留米大学医学部救急医学講座講師)

梶原 由美 (社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院相談員)

樋口 千恵子 (NPO法人たんがく理事長)

岩橋 勝一 (久留米広域消防本部救急防災課課長補佐)

検討の視点と内容

[視点]

- **患者の意思決定をどのような仕組みで支えていくのか**
- **患者の意思に沿わない救急搬送につながらないための環境をどのように構築していくのか**

[内容]

- ① **アドバンス・ケア・プランニングの普及啓発の検討**
- ② **患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの作成及びその活用の検討**
- ③ **支援者の資質向上のための研修体制の構築**

部会の開催状況

回	開催日	検討内容
1	5月22日	<ul style="list-style-type: none">・ アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及・啓発を図るための方法等の検討・ 患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの検討
2	8月19日	<ul style="list-style-type: none">・ ACPの普及・啓発を図るための方法等の検討（講演会など）・ 患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの検討・ 在宅療養関係者に対する研修スキームの検討
3	10月18日	<ul style="list-style-type: none">・ ACPの普及・啓発を図るための方法等の検討（出前講座での取り組み）・ 患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの作成・ 在宅療養関係者に対する研修のプログラム等の検討
4	12月19日	<ul style="list-style-type: none">・ 患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの今後の活用とその評価について・ 在宅療養関係者に対する研修プログラム及び実施体制の検討

【令和元年度の検討結果】

アドバンス・ケア・プランニング（ACP）の普及・啓発

（１）市民啓発講演会について

- ACPをテーマにした市民啓発講演会の実施。

（２）講演会以外での普及啓発について検討

- 在宅医療・介護連携センター（以下「連携センター」）で実施している出前講座の有用活用
- 「もしバナゲーム」を活用した出前講座について検討
 - ・ 久留米地域でのもしバナゲームの取組状況とその効果の把握
 - ・ もしバナゲームの講師をNPO法人結の会の依頼

【令和元年度の検討結果】

患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの作成及びその活用の検討

【フォーマットの構成・内容】

1. 私の生き方ノート これからの医療・ケアに関する話し合い
アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ
(ステップ1～ステップ3「考えましょう編」)

自身の人生観や価値観などを振り返るとともに、ACPを身近なこととして考えることができる。(市民啓発の要素)

2. 私の生き方ノート これからの医療・ケアに関する話し合い
アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ
(ステップ4～ステップ5「伝えましょう・話し合いましょう編」)

受けたい医療やケアについて、代理意思決定者や医療・介護従事者と話し合うことができる。(ACPの実践)

【令和元年度の検討結果】

患者の意思を在宅療養関係者で共有できるフォーマットの作成及びその活用の検討

【配布先及び方法】

1. 私の生き方ノート これからの医療・ケアに関する話し合い
アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ
(ステップ1～ステップ3「考えましょう編」)

- 配布方法：医療機関や訪問看護ステーション、調剤薬局、居宅介護支援事業所等の介護福祉事業所、その他公共施設等に配布・設置する。（当初5,000部作成）

2. 私の生き方ノート これからの医療・ケアに関する話し合い
アドバンス・ケア・プランニングの5つのステップ
(ステップ4～ステップ5「伝えましょう・話し合いましょう編」)

- 配布方法：「久留米市 患者の意思を尊重した意思決定のための相談員研修」受講者等に配布。（当初1,000部作成）

フォーマットの運用にあたっての注意事項

- ① 私の生き方ノートは、書いて終わりではなく、適宜見直し、家族等や医療介護従事者と話し合うものとして活用していただくこと
- ② 私の生き方ノートを作成していたとしても、救急要請が必要だと判断される場合は、速やかに対応すること
- ③ 私の生き方ノートに心肺蘇生等を希望しない旨が記載されていたとしても、救急要請を行った場合は救急業務が優先されること

傷病者の意思に沿った救急現場での心肺蘇生については、今後各地域での検証を通じた事案の集積による知見の蓄積と、国民の意見の動向や人生の最終段階における医療・ケアに関する取組状況等を見極めが必要である¹⁾とされ、現状においては、救急要請がなされた場合は速やかに救命処置及び搬送を行う必要がある。

1) 総務省消防庁「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施に関する検討部会報告書」

【令和元年度の検討結果】

支援者の資質向上のための研修体制の構築

【研修プログラム】

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに基づいた意思決定支援教育プログラム（E-FIELD）に準じた取り組みを推進する。

	内容	形式
1	人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドラインに基づいた意思決定（総論）	講義
2	意思決定に関するもの STEP 1：本人の意思決定する力を考える STEP 2：本人の意思の確認ができる場合の進め方	講義 グループワーク

[令和元年度の検討結果]

支援者の資質向上のための研修体制の構築

	内容	形式
3-1	アドバンス・ケア・プランニング	講義
3-2	アドバンス・ケア・プランニングの実践 ・ もしも、のときについて話し合いを始める ・ 本人の意思を推定する者（代理決定者）を選定する ・ 治療の選好を尋ね、最善の選択を支援する	講義 ロールプレイ
3-3	STEP 3 : 患者の意思を推定する	講義 グループワーク
3-4	STEP 4 : 患者にとっての最善の医療・ケアの方針について合意する	講義 グループワーク

「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」 意思決定支援や方針決定の流れ（イメージ図）（平成30年版）

人生の最終段階における医療・ケアについては、医師等の医療従事者から本人・家族等へ適切な情報の提供と説明がなされた上で、介護従事者を含む多専門職種からなる医療・ケアチームと十分な話し合いを行い、本人の意思決定を基本として進めること。

心身の状態に応じて意思は変化しうるため
繰り返し話し合うこと



人生の最終段階における
医療・ケアの方針決定

主なポイント

本人の人生観や価値観等、できる限り把握

本人や家族等※と十分に話し合う

話し合った内容を都度文書にまとめ共有

本人の意思が確認できる

STEP1

・家族等※が本人の意思を推定できる

本人の意思が確認できない

・家族等※が本人の意思を推定できない
・家族がいない

本人と医療・ケアチームとの合意形成に向けた十分な話し合いを踏まえた、**本人の意思決定が基本**

STEP2

本人の推定意思を尊重し、本人にとって最善の方針をとる

STEP3

本人にとって最善の方針を医療・ケアチームで慎重に判断

STEP4

・心身の状態等により医療・ケア内容の決定が困難
・家族等※の中で意見がまとまらないなどの場合

→複数の専門家で構成する話し合いの場を設置し、方針の検討や助言

STEP5



※本人が自らの意思を伝えられない状態になる可能性があることから、話し合いに先立ち特定の家族等を自らの意思を推定する者として前もって決めておくことが重要である。
※家族等には広い範囲の人(親しい友人等)を含み、複数人存在することも考えられる。

【部会としての今後の動き】

- 次年度 : 取り組みの評価指標の検討・設定
評価 : 3か年経過後に、設定した指標の推移等について分析・
評価を行なうこととしたい。（令和4年度中の評価実施）
指標例 : 以下表のとおり。次年度以降に再検討していく。

指標分類	在宅医療情報	救急医療情報	その他の情報
アウトカムに関するデータ	<input type="checkbox"/> 死亡場所の推移 <input type="checkbox"/> 再入院率（の推移）	<input type="checkbox"/> 退院後の再入院率（の推移）	
プロセスに関するデータ	<input type="checkbox"/> 訪問診療実施件数 <input type="checkbox"/> 看取り実施件数 <input type="checkbox"/> 医療・介護従事者向け研修の実施件数	<input type="checkbox"/> 救急搬送者のうち高齢者の疾病分類別割合	<input type="checkbox"/> 市民向け研修会の実施件数 <input type="checkbox"/> ノート配布件数
ストラクチャーに関するデータ	<input type="checkbox"/> 在支診・在支病院・在医総管届出施設数	<input type="checkbox"/> 救急医療機関施設数	

在宅医療・救急医療セミナー資料（在宅医療・救急医療連携に係るデータ収集シートより一部抜粋）より作成

患者の意思に沿った医療やケアが提供されるために

